

第3次草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画 達成目標進捗調査票

資料 3

				第2次計画			第3次計画							
目標設定	達成目標	単位		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R14	R6年度成果	今後の方向性	
家庭系ごみ (集団回収を含む) 減量目標	令和元年度比 で市民1人1日 当たり44.2g (8.0%)の減量	g/人・日	目標値				546.2	534.4	519.2	517.5	509.0	【R6年度目標値との比較】 R6年度目標値519.2gに対して、R6年度実績値は479.1gとなり、目標値を達成することができた。 主に、指定ごみ袋制度の変更や物価など景気変動による影響が考えられる。	「エコライフフェア草津」等のごみ問題を考える草津市民会議と連携した啓発事業や、ごみ分別アプリ等の媒体を通じて、引き続き、さらなるごみの減量や分別の徹底に向けた啓発を推進する。	
			実績値	553.2	557.4	542.8	515.4	490.6	479.1	—	—	【前年度との比較】 R5年度実績値490.6gに対して、R6年度実績値は479.1gとなり、ごみ排出量は減少した。 主に、焼却ごみ類の排出量が減少したため。		
事業系ごみの 減量目標	令和元年度比 で市民1人1日 当たり15.9g (6.1%)の減量	g/人・日	目標値				258.7	252.4	244.3	244.4	244.3	【R6年度目標値との比較】 R6年度目標値244.3gに対して、R6年度実績値は234.8gとなり、目標値を達成することができた。 主に、ごみの減量・リサイクルに向けた事業者への訪問指導等により、事業系ごみ排出量が抑えられていることによるものと考えられる。	引き続き、排出事業者への減量指導を行うなど、ごみの発生抑制と再使用に向けた取組を進める。	
			実績値	260.2	232.4	239.6	240.0	233.4	234.8	—	—	【前年度との比較】 R5年度実績値233.4gに対して、R6年度実績値は234.8gとなり、ごみ排出量は増加した。 R5.5.8に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に分類され、R6年度はさらにコロナ禍のダメージから回復したことにより、事業系ごみ量が増加したものと考えられる。		

※目標値と実績値に記載の数値は、国勢調査の人口で算出しているのに対し、第2次計画の目標値は住民基本台帳の人口で算出していることから、令和元年度から令和3年度までの目標値は記載していません。

●家庭系焼却ごみ類

・R5.10に指定ごみ袋制度を見直したことや、物価高騰による個人消費の冷え込みなどが家庭系ごみが減少した一因と考えられます。

・本市の焼却ごみ原単位はR5→R6で約▲1.7%であり、近隣市を含む9自治体の平均減少率(▲1.8%)を若干下回っているものの、R4と比較すると約▲7.6%となっており、減量が進んでいます。(類似団体の9市平均のR4→R6減少率は約▲5.1%)

●家庭系古紙類およびプラスチック製容器類

・R5.10に指定ごみ袋制度を見直したことや、古紙類の収集日を増やしたことにより、古紙類やプラスチック製容器類の排出量がR6上期はR5上期に比べて大きく増加していますが、R6下期はR5下期に比べてプラスチック製容器類はやや減少し、古紙類は微増という状況です。

(参考)近隣市を含む9自治体の家庭系可燃ごみ原単位の状況(R6)

草津市:347g/人・日	三田市:455g/人・日	守山市:374g/人・日
箕面市:403g/人・日	廿日市市:386g/人・日	栗東市:323g/人・日
守口市:297g/人・日	海老名市:318g/人・日	野洲市:419g/人・日
橿原市:448g/人・日		

●事業系一般廃棄物(可燃ごみ)

・R5.4に手数料を10kgあたり170円から210円へ上げたことにより、R5はごみ量が2.8%減少しましたが、R6はコロナ禍のダメージから回復して、事業活動が活発化していることなどにより、約0.6%増加したと考えられます。(類似団体で海老名市を除く5市平均のR5→R6増減率は約▲1.5%)

(参考)類似団体5自治体の事業系可燃ごみ原単位の状況(R6)

草津市:235g/人・日
箕面市:234g/人・日
守口市:240g/人・日
橿原市:299g/人・日
三田市:189g/人・日
廿日市市:255g/人・日